

再販権ビジネス（リセールライトビジネス）で簡単開業！高収益

リセールライト  
（再販売権利）ビジネス  
入門書



<http://www.dropshipjp.com>

Copyright ©2006 TERK, All rights reserved.

<b>マスターリセールライト（12,000 円）</b>
<b>あなたはこの E-Book のマスターリセールライト（再販売権利）を手に入れました。</b> <b>この E-Book を自由に販売したり、メール購読者にプレゼントしたり、あなたの商品の</b> <b>ボーナスとして提供することができます。</b> <b>ただし、無料配布や内容の修正はできません。</b>

## はじめに

「リセールライト入門書」のご購入ありがとうございます。

初めましてTERK（原口印刷株式会社）の塚田と申します。

ネットビジネス元年と言われた今年 2005 年、多くの人が情報販売やメルマガアフィリエイトで今まででは考えられないような収入を上げるような時代がついに日本にも来ました。しかし、今日本におけるネットビジネスは先駆者利益を上げて、情報商材を売る側と買う側という極端に 2 極化された構造になっていると思われます。

では、いつまでそのような不公平な構造が続くのでしょうか。まだインターネットビジネス自体が未熟な日本では、しばらくはこの構造がつづくのかもしれませんが。

しかし、ネット先進国の英語圏では E-BOOK の販売が全盛期を過ぎ今はソフトやツール、そして物販の販売が主流になりつつあります。

その傾向はやがて日本にも訪れるでしょう。

今からネットビジネスを始めて確実に成功への道を進むにはどうすればいいかを考え、ネット先進国では何がブレイクしているのかを調査しました。ネットの世界では英語圏でブレイクしたものがどんどん日本に取り入れられ、巨大なマーケットになっています。次の日本におけるネットビジネスの注目株はリセールライトビジネスであると思っています。

<http://www.dropshipjp.com>

Copyright ©2006 TERK, All rights reserved.

そんなビジネスモデルに少しでも皆さんが興味を持っていただければ幸いです。

**TERK（原口印刷株式会社）塚田 剛**

(<http://www.dropship.jp>)

<http://www.dropship.jp>

Copyright ©2006 TERK, All rights reserved.

## リセールライトビジネス 始まる

「リセールライトビジネス」という言葉をご存知ですか？

まだ、多くの方がこの新しい用語をご存じないと思います。

このビジネスは英語圏で生まれ、英語圏では急速に広まりつつあるものの、日本ではまだなじみがありません。

リセールライトビジネスとは、「販売権」を付けて情報商品「ソフトウェア」や電子書籍「E-Book」を販売するビジネスのことです。

簡単に言いますと、私があなたにソフトウェアや E-Book を販売するとします。

購入したあなたは、その商品を自分で使うだけでなく、他の誰かに私と同じように販売することができるのです。

そのとき、あなたがリセールライト商品を販売して得た代金は全てあなたのものです。

**もう一度言います。あなたが得た売上金はそのまま 100%あなたの利益となるのです。**

あなたはそのソフトの「販売権利」をソフト購入時に同時に買っているので、いくら商品を売ってもそれ以上の請求は発生しないわけです。

この販売権利形態にはいろいろあり、あなただけに販売する権利を与えられる

「リセールライト」

さらに、あなたが売った相手にも販売する権利を認める

## 「マスターリセールライト」

など細かく条件が決められています。

販売権利と聞くと何十万、何百万という料金が必要になるのではないかとお思いになるでしょう。

しかし実際は、1つの商材につき、大体 10000 円～20000 円前後なのが普通です。

ソフトの量販店に行ってみればわかりますが、似たような機能を備えたソフトが同じような値段で売っているでしょう。

では、

なぜこのようなビジネスが成り立つのか？

需要はあるのか？

どうやったら儲かるのか？

この eBook ではあなたの疑問にすべてお答えし、確実な成功を導く手解きを記した、「リセールライトビジネス」の「入門書」です。

このビジネスの落とし穴、デメリットについても細かく解説し、それを回避する方法までご紹介していきます。

ぜひ最後まで読んでいただいて、この情報があなたにとって役に立つものになり、ネットビジネスに少しでも興味をお持ちいただければ幸いです。

## 日本でも、個人ネットビジネスの時代が確実に到来

日本におけるインターネット普及率がようやく世界に追いつくようになった今、日本が「スペシャル」な市場であることは疑いの余地がないでしょう。

- ・ 市場規模（金額）では依然として世界第２位の地位にあること、
- ・ ３Ｇ無線情報サービスや次世代携帯電話といった先進的技術を活用したサービスの普及、
- ・ ソニーやドコモをはじめとする世界トップランクの企業の存在、
- ・ 世界一の高速インターネットの市場成長などがその理由です。

しかしながら、現状のみを捉えれば、日本は近年発展の著しい国、例えば韓国に比べ、まだまだ遅れをとっています。

高速インターネットの加入者数は比べ物にならず、インターネット加入者自体もまだまだ、少ないと言えます。

特に E-コマース（ネット販売）の普及率は韓国、欧米と比べても歴然とした差があり、世界第２位の市場規模もまだ手付かずの部分が多く残されているのです。

ここに E コマース先進国のノウハウを投入し、手付かずの市場にアプローチすることで新しいマーケットが生まれるのです。

過去及び現在においても日本でのネットビジネス成功者は、例外なく欧米で成功した最新のビジネスモデルをいち早く取り入れています。

この手付かずの市場では、たとえあなたが何の経験もないネットビジネスの初心者であっても先進国のノウハウがあれば、成熟した市場特有の価格競争やサービス競争のような体力の要るリスクを背負うことなく、先達のマーケットター並の成功を手にいれることができるのです。

## リセールライトビジネスを待っている市場

1947（昭和 22）～1949（同 24）年に到来したベビーブームは、現在注目されている「団塊の世代」を生み出しています。

2000 年に行われた国勢調査によると、「団塊の世代」の人口は約 700 万人にも及び、全人口の 5.4%を占めるといわれています。

その約 700 万人という団塊の世代が、2007 年から定年を迎えます。

「定年」という響きから、暗いイメージをもつ人が多いかもしれませんが、彼らの多くは定年後の生活を楽しみにしています。

自由になる時間とお金をもち、日本の高度成長期をエネルギッシュに生きてきた彼らが、再び新たな時代を創りだす土壌となります。

そのためには、インターネットが必要不可欠になってくるのではないのでしょうか。

総務省が発表した 2004 年末のインターネット利用率は、50～59 歳では 65.8%、60～64 歳では 49.0%、65 歳以上は 17.5%となっています。

それぞれ前年から 3.2 ポイント、10.0 ポイント、2.6 ポイント伸びており、特に 60～64 歳の伸びが大きいと発表しています。

また、約 70%のサラリーマンがインターネットを利用しているという調査結果も出ています。

つまり、この 2007 年に定年を迎え始める団塊世代、特に男性は、仕事を通じてパソコンでのメールやインターネットの知識はすでに取得済みであると考えられ、彼らは定年後イン



ターネットをどう活用するかということに意識を傾けていると言えます。

このような傾向は日本だけに言えることではありません。例えば中国の検索サイト「大綱網」の調査結果によると、上海に住む 60 歳以上の人たちのなかで 73% もの人が「インターネットを利用したい」と考えています。

また、本拠地をワシントンに構えるオールピューインターネットプロジェクトが行った高齢者のインターネット利用調査結果によると、インターネットを利用するアメリカ人シニアの割合は、2000 年から 2004 年に 47% 増加し、2004 年 2 月の調査では 65 歳以上の 22%（2000 年は 15%）が、インターネットへアクセスしたいと考えています。

このようにシニア世代のインターネットの利用意欲の拡大には目を見張るものがあります。

しかも、日本について言うならば、その拡大はゼロからではなく、ある程度のインターネットの知識を蓄えたシニアが進めていくのですから、スピードも速いでしょう。

そのため、ネット上に進出してきたシニアたちを囲い込む為に、最近では企業がこぞってインターネットビジネスに進出しているのが現状です。

例えば、「Yahoo! JAPAN」で「シニア」というキーワードで検索してみると広告スペースには、セブン・イレブン・ジャパン、大阪ガス、ベネッセコーポレーション、三菱 UFJ 証券など、そうそうたる企業の広告が並んでいます。

オーバーチュアの入札価格チェックツールを使ってみると「シニア」というキーワードは、1 位 280 円（2006 年 6 月 9 日現在）という高額入札となっています。

ヤフーは 2006 年 4 月、団塊世代向けのポータルサイト「Yahoo! セカンドライフ」を開設しました。

「政治経済」や「くらし」、「お金」、「旅」、「グルメ」、「おしゃれ」などのカテゴリ別に、

それぞれの分野の達人や著名人、有名人などの記事を掲載しています。

この他にも、シニアマーケット専門のコンサルティング会社・シニアコミュニケーションと飲食店のインターネット検索サービスなどを運営するぐるなびが提携して誕生した「ぐるなびシニア」や、シニア向けショッピングサイト「楽天シニア市場」なども登場しています。

これらのサイトは、シニア世代にも読みやすいように文字の大きさを選択できるようにしたり、「困った時の解決法」というタグを目立つ場所に配置するなど、ユーザーが困ったとき、「いったい何処を見ればいいんだろう・・・」と迷うことがないように配慮がされています。

50 代向けのコミュニティサイト「パワーウィングス・ネット」を運営するパワーウィングスが、今年 2 月に実施した「シニアの IT リテラシーの現状をさぐる」というアンケートの中で、パソコンの利用経験がある人も、まだその知識に乏しい人も、最も困っていることの 1 つとして「ホームページの作成」を挙げています。

これからのシニア世代は今まで生きてきた知恵と知識と経験を使って、情報を発信し、新たに何かを始めたいと考えているのではないかとこの結果から見えてきます。

そのために必要な「ソフト」や「サービス」などのツールが今後一層「団塊の世代」たちに求められることは容易に想像できます。

これらの人々が、今後のネットビジネスにおいては大きな「見込み客」であると同時に、それぞれが個人でのネットビジネスに乗り出して大きなマーケットを創造する側に回るとも言えるのです。

リセールライトビジネスの肝は「商材」の「再販売権」にあります。

マーケットを創造しようという団塊の人々は、自信で HP を作製したり、ブログを作製するために、教材を購入したり、パソコン教室に通ったりするでしょう。老後に不安を抱えた世代は今後の生活のためになんとかネットビジネスを自分でもできないものかと模索をする人は決して少なくないはずです。

そこで簡単なアフィリエイトがまず取り上げられるでしょう。しかしアフィリエイトだけではさほどの収入にならず次のビジネスモデルを探すと思われます。

そういった方達にこのリセールライトビジネスは最適のビジネスモデルであるといえます。自分で使って勉強をしながらそれをさらに販売していく。こんな彼らにとって都合のいいビジネスモデルは他にはありません。彼らのネットワークが利用されればこのビジネスモデルがあっという間に広がることも考えられます。

そのような人たちのニーズをまさに再販売権ビジネスは満たしているのです。「自分で使用しながら販売も出来る」再販売権利の価値は彼らにとって殺し文句となるでしょう。

## なぜリセールライトが商売として成り立つのか

そもそもどうしてこの様なビジネスモデルが成立するのでしょうか？

リセールライトの概要を聞いた多くの人は「こんな商売が成り立つわけがない！」と疑問を持つでしょう。

自分がソフトや E-Book の開発者になったことを想像すれば、確かに苦労して開発したソフトや E-Book を他人に自分への見返り無しに売られたくはないでしょう。自分だけで売ったほうが儲かる！と思うのは当然です。

日本の企業もちろん、そういうスタンスです。著作権の争いも絶えません。

しかし、これはインターネットマーケティングの本質を伴った売り方のなのです。

この販売方法は「**ヴァイラルマーケティング**」という手法を利用したもののなのです。

どんな良い商品も多くの人々に知られなければ売れません。

大手の企業が巨額のテレビ CM や電車広告を使うのはそのためです。

しかし、インターネットでは、様々なホームページが存在し、広告の手法も多様化してきました。

ヴァイラルマーケティングとは、インターネット等を媒体とした口コミを利用して、商品やサービスを消費者に宣伝してもらうマーケティング手法ことです。

ヴァイラルとは「ウイルス (Virus) の」の意味で、マーケティングの仕組みをウイルスに例えてそう呼ばれています。

あなたがネット上で多くの人に自分の商品の良さを知ってもらおうとしたら、どうしたらよいでしょう？

多くの人のホームページで自分の商品を紹介してもらうのがいいのではないのでしょうか？

でもどうやって紹介してもらいましょう？

今までのマーケティング手法ではここでアフィリエイトが取り上げられてきました。

新規顧客獲得の広告費の代わりに広告をしてくれるアフィリエイトにマージンを企業は払っていたのです。

しかし、アフィリエイトではなかなか販売が広がらないのが現状なのです。

一部のパワーアフィリエイトを除き、ほとんどのアフィリエイトは月に 5000 円程度も稼ぐことが出来ずにいるのはご存知でしょうか。

アフィリエイトには無料で参加できるかわりに、積極的な活動をしていない人がほとんどであるのが今の状況なのです。

そこで「リセールライトビジネス」の登場です。

製作者から販売権を買った購入者は、そのソフトや E-Book を売って儲けようと自分のホームページなどでたくさん宣伝をします。

少なくとも購入費用以上は収入を得ようとするわけです。

通常のアフィリエイトに比べリセールライト商品を販売する「リセラー」は初期投資をしている分、積極的に販売活動を行います。

するとそのリセールライト商品を手に入れる人がどんどん増えます。

そのソフトに開発者の情報やホームページの URL をあらかじめ入れておけば、

まずその URL なり会社名なりが広く人の目に触れることになります。

そうするとアクセスが増えるのです。

なぜか？

リセールライト商品を手に入れた人はもっと便利なソフトや E-Book、もっと売れるものはないか、もしくはこの HP はなんだ？ と開発者の HP に戻ってくるのです。

そういう HP には必ず「アドレスを収集する仕組み」があります。

例えば、「このすばらしい E-BOOK が欲しい方はこちらにアドレスとお名前を入力してください。私からお得な情報もお届けします。」というような形で必ず訪問者のアドレスと名前を登録する仕組みをつけておくのです。

こうやって取得したアドレスは懸賞などで取得したリストとは比べ物にならない有効なアドレスになります。興味のある見込み客のみのアドレスなわけですから。

そこで取得したアドレスに対して、今度はマスターリセールライトではない商品の販売をするわけです。

つまり、そこでしか手に入らない個人使用限定のソフトや E-BOOK であったり、そこから購入した人にしか販売権の与えられないリセールライト商品（購入者は販売権を付けたままでは販売できません）を売るわけです。

つまり、ソフトの開発者は、マスターリセールライトを付けることで巨大な CM 効果を狙っているのです。

この手法は、テレビで CM を流すよりよっぽど格安で、不特定多数ではない**見込み客に限定された**（興味のある）人たちに届くという驚異的な宣伝方法になるわけです。

同時にマスターリセールライト付帯ソフトの購入者も、格安で実用的ソフトを手に入れた上、販売することに 100%の儲けを手にすることができます。

お互いが補い合う関係でリセールライトビジネスは成り立っています。

## リセラーのメリットとは

あなたが他のネットビジネスを始めるよりも販売権利を購入してソフトを販売する「リセラー」になることのメリットは何でしょう？

大きく 2 つあります。

ひとつは**たくさんの手間を省いて簡単にネットビジネスが始められること**、

もうひとつは**高い利益率を得ることができること**

リセラーになるのにいったいどれぐらいに時間が必要でしょうか？

おそらく全くホームページの知識が 0 の人でも、1 日で最低限の準備を整えて販売ができる状態になるでしょう。

なぜなら、販売権利を付ける場合、販売元の製作者はどんどん売れてもらわないと意味が無いので、大体においてその商材を売るための販売用ページ（セールスページ）やそこで使う画像をセットにしてくれるからです。

あなたはただ、ホームページをアップするサーバを用意して、そこにその販売ページをアップすれば、すぐにでもそこからソフトを売ることができます。

ソフトの販売はあなたのホームページから購入者がダウンロードすることで行います。

あなたのサーバに商品をアップロードしたら、パスワードをかけて購入者にだけそのパスワードをメールなどで伝えます。

たったこれだけです。

<http://www.dropshipjp.com>

Copyright ©2006 TERK, All rights reserved.



商品を送付したりする手間はもちろんありません。

メールの自動返信機能や outlook express 等のメッセージルール機能、フォームメールを利用すれば、一度ＨＰを作ればあとは何もせずにあなたの口座に入金される仕組みが出来上がってしまうのです。

そんな補充のいらない自動販売機のようなページをいくつも作ることができてしまうのです。

それでは、どれくらい売れば、儲けることができるのでしょうか？

リセールライトビジネスでは権利によって制約がある場合もあるものの、多くは自分なりの工夫をして販売することができます。

具体的にはボーナスや、バンドル（２つのソフトを一緒に販売する）などはリセラーが自由に設定をすることが出来ます。

リセールライトビジネスでは、たいていの場合、最低販売価格が決められており価格を購入時より極端に下げることができません。

価格競争になってしまうと、あなたから安く買った次のリセラーがより安く売るという連鎖がおこり、あなた自身が売れなくなってしまう事を防ぐための施策です。

従って販売価格と同額か、少しおまけを付けるなどで、販売します。

すると、あなたが購入した商品に対してひとつ売るだけで投資を取り返し、それから後は売った数だけ２倍、３倍と儲かっていきます。

アフィリエイトが何割かの利益しか得られないのに対して、売価の全額を利益とできるのは最大の違いといえます。

もちろん、他のアフィリエイトプログラムと併用することで、相乗効果を得ることもできます。

（たとえば、リセールライトが付随していない商品へはアフィリエイトリンクをはるなど）

## リセラーのデメリット

リセールライトビジネスにももちろん少なからずデメリットがあります。

デメリットがないと喧伝するビジネスがあるならそれは眉唾で、そのようなビジネスを始めるべきではないでしょう。

### 1. 最初に販売権を買うという投資が必要

アフィリエイトの多くのプログラムは、全く投資を必要としませんが、リセールライトビジネスでは最初にリセールライト付帯商材を「仕入れる」必要があります。商材を集める初期投資では出費を覚悟しなければなりません。

### 2. 同じ商品を販売するリセラーがどんどん増えていく

あなたが販売権を売った相手が次にはライバルになっている可能性があります。したがって一つあたりの商品寿命は短くなっています。(大体2年ぐらいと言われていいます。) 安易な価格競争を行ったり、むやみに商品をばら撒いてしまったりするとその寿命はもっと短くなってしまいます。(しかし、今後は需要が拡大することが見込まれますので販売数は確実に伸びます)

### 3. 提供されるソフトの中には英語のものが多いです。

元々、リセールライトビジネスの生まれが海外であるため、今のところ開発元の多くは英語圏です。そのため、ソフトのメニューやメッセージは英語であることが多くなっています。(今後日本でもこのビジネスモデルは定着しますから、日本語のリセールライト商材も急速に増えると思われます。)

すべてを日本語にパッケージしては時間と費用がかかってしまい、リセールライトの趣旨に反してしまいます。

### 4. 価値の無いリセールライト商材が今後多発すると思われます。

このヴァイラルマーケティングに目をつけた悪意を持った人間がただ目先の販売のためだけに価値の無いリセールライト商材を市場に流すことも十分考えられます。

まだ、日本に入ってきたばかりのビジネスモデルですから今後いろいろな弊害が出てくるでしょう。すでに海賊版と言われる権利がないのに勝手に再販権利を付けて販売されているようなものも出てきています。

どうでしょうか？

これらのデメリットをご理解いただけたでしょうか。

あなたがこのビジネスを始めるにあたりこのようなデメリットがあることも十分考えなければなりません。しかし、解決策が無いわけではありません。

## 解決策

### 1．確実に売れるソフトや E-Book だけをまだ市場に広まる前に仕入れる

利益の上がる商材だけを仕入れれば、リスクを軽減できます。

しかし、人気のある商材は当然他のリセラーも積極的に販売しますから、まだ市場に広まる前に売れそうな商材を仕入れることで、あなたのビジネスはより有利に展開します。あなたのサイトの品揃えを増やし、彼らより優れたHPをいち早く展開しなければなりません。また、既存の購入者リストを利用し先行販売などのプロモーションをするのも有効です。

### 2．最新のソフトをいち早く見つけて、購入する。

最新のソフトを提供してくれるリセラーを探し出し、売れる商材をネット上に上げることで常にあなたの優位性が保たれます。

### 3．日本語の説明書を作る。

英語のままのソフトや E-Book では残念ながら日本ではほとんど売れません。解説書を日本語で作成し、わかりやすいビデオと一緒に販売することで販売力のあるオリジナル商材ができるでしょう。

また開発者の中には説明のマニュアル作成が不得手な人も多いようです。わかりやすいマニュアルを用意することであなたの商品としての価値を上げることができます。そうすることで、今度はあなたのヴァイラルマーケティングが始まるわけです。

### 4．商材を支給してくれるサービスの会員になる。

これもネットで検索していただければわかりますが、現在リセールライト商材を購入し、会員向けのサービスを行っているところはいくつかあります。その会員制メンバーシップに参加することで、商材仕入れのコスト削減や新しい商材の確保には悩まずにすむでしょう。

## 参考案

TERK( <http://www.dropshipjp.com> )でもそんな不安を解決する仕組みをご用意しています。  
あなたの選択肢の一つに加えていただければ幸いです。

リセラーが定期的に収入を上げていくにはどうすればいいのか、そしてリセールライトビジネスで成功した後はどのように展開をしていけばいいのか考えたシステムを構築しております。

他のリセラーよりも成功するためにはどうすればいいのかを考えた仕組みです。

### 1．投資リスクを軽減して、不意な支出を 0 にします。

dropshipjp では会費制を採用しています。一定の月会費を払うだけで、いくつでも新しいソフトや E-Book を手に入れることができます。ソフトは毎月新しいものを追加します。

また入会時には 8 本ものリセールライト付帯ソフトと 6 冊の E-Book をご提供します。

### 2．常に最新のソフトと E-Book を毎月ご提供。あなたのリセールライトビジネスをいつも新鮮に保ちます。

会員は 500 名限定オファー。特に初期登録者 100 名にはさらに特別価格をご用意してむやみなばら撒きマーケティングは行いません。

### 3．各ソフトにわかりやすいチュートリアル（使い方）ビデオをセットでお渡しします。 このビデオをあなたが再販売するときに配布するのも自由です。

### 4．リセールライトビジネスだけでなく同時に今急速に広まっているドロップシップビジネスも同時展開できます。ドロップシップを利用して簡単にネットショップオーナーになっていただけます。収入の糸口を増やすことであなたの成功を確固たるものにする仕組みです。もちろんすべての問題がこれで解決されるわけではありませんが、ライバルのリセラーと比べてぐっと有利になるはずです。



## 結論

リセールライトビジネスの概要はお分かりいただけましたでしょうか？

- ✎ リセールライトとは、主にソフトや E-Book の「あなたが販売してもいい権利」(再販売権、リセールライト)を格安で買って、そのソフトをあなた自身が販売する度に100%の利益を得ていくビジネスモデルのことです。
- ✎ リセールライトでは作成者にも、再販売権を売るほうにも買うほうにも同様にメリットが発生し、  
WIN WIN WIN の関係が築けるのです。
- ✎ 少ないリスクに比べて、高い利益率があります。
- ✎ 初心者でもすぐに始められます。
- ✎ リセールライトを求める市場が形成されつつあるのに、ライバルはまだ少ない。

ライバルはアフィリエイトや情報販売等の流行する手法と比べてもまだ圧倒的に少ないのです。

その上、この eBook で述べたように、これからの市場に確実に求められるビジネスです。

ネットビジネスを始めようと思いついたあなた、その思いつきは大変すばらしいものです。そして今すぐにでも実行に移したいなら儲けに対するリスクが少なく、準備が短時間で済むこのリセールライトビジネスはスタートとしてはベストの選択肢だと私は自負します。

<http://www.dropshipjp.com>

Copyright ©2006 TERK, All rights reserved.

ネットビジネスは次々に新しい手法が生み出され流行していきます。今年有効な手法が 5 年後もっとも有効とは限りません。ネットビジネスでは流行の兆しを読んで人よりも早く始めた人に利益があるとされています。(先駆者利益といいます。)

今年がネットビジネスの始め年であるのはいろんなニュースや専門誌を見てもまちがいのないところでしょう。

もちろんあなた自身のレベルアップも急務です。実際にネットビジネスを通して学ぶことが、どんなセミナーよりあなたをレベルアップさせるでしょう。

5 年後に私が最新のビジネスについて教えるのはあなたかもしれません。

PS.もちろんこのビジネスモデルがあなたのネットビジネスのゴールではありません。

リセールライトビジネスは簡単に始めることができ、先進国の英語圏のノウハウをあなたが使用し販売することで次のステップへの近道に確実になることと思います。

そしていつの日か、あなたがリセールライト商品を製作する日が来るのも夢物語ではないのです。

ご精読ありがとうございました。

あなたの成功を心より祈願いたします。

<http://www.dropshipjp.com>

Copyright ©2006 TERK, All rights reserved.

## TERK（原口印刷株式会社）塚田 剛

オンラインショップ DROPSHIP&RESALERIGHT <http://www.dropshipjp.com>

TERK（原口印刷株式会社）取締役 塚田 剛

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-11-4

電話番号: 03-5215-1155 (平日 9:00-17:30)

ファクス: 03-5215-1170

info@terk.jp

おまけ。

最後までご購読いただいたお礼に、「誰でもできる簡単アフィリエイト」(販売価格 10,000 円、再販売権利付)をプレゼントします。

こちらからどうぞ

<http://tinyurl.com/japho>

<http://www.dropshipjp.com>

Copyright ©2006 TERK, All rights reserved.